

2013年度 環境活動レポート ユーレックス株式会社

eureks

対象期間 2013年4月1日～2014年3月31日



発行 2014年6月1日



国内唯一のオイルヒーター製造メーカー 皆様に愛されて25年

私どもユーレックス株式会社は、国内唯一のオイルヒーター専門メーカーとして、かけがえのない自然環境を持った信州・八ヶ岳のふもとの地で1989年に創業いたしました。

まえがき

昨今、地球環境やエネルギー供給に対する問題意識が高まっております。このような状況の中、当社としてはオイルヒーターを中核とし、そこで培われた技術を活かした新たな商品やサービスを生み出すことにより、地元信州をはじめ日本、広くは世界全体の環境負荷を低減することを目指していきたいと考えております。

代表取締役 岡田 純二



目次

1. 環境方針
2. 環境管理体制図
3. 会社概要
4. 製品紹介
5. 環境への取組み
6. リサイクル活動への取組み
7. 環境教育及び訓練実績
8. 環境コミュニケーション
9. 代表者の見直しと評価
10. 環境法規関連の遵守状況

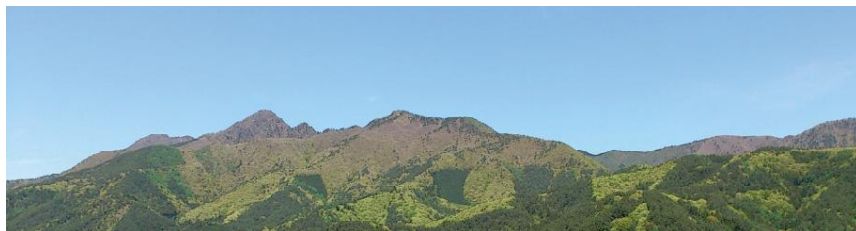


工場社屋



会社概要

会社名	ユーレックス株式会社
資本金	40,000 千円
所在地	長野県茅野市玉川上原山林間工業公園
代表者名	代表取締役 岡田 純二
環境管理責任者	工場長 武田 和文
事業内容	オイルヒーターの設計・製造及び販売 オイルヒーターのアフターサービス
従業員数	21名
売上高	457,000千円
主要製品生産量	23,400台



環境方針

～ 環境理念 ～

地元信州の自然を愛し、その恩恵に感謝する事を忘れず、「環境負荷低減」と「循環型社会の実現」を企業活動における最重要課題と位置付け、その推進を自主的かつ積極的に行います。

～ 環境方針 ～

- 1 環境保全に関連する法律・条例・協定・その他の要求事項を遵守します。
- 2 企業活動に於いて次の事項を重要課題とし、目標を設定した上で取り組みます。
 - ① 資源の有効活用とエネルギーの削減
 - ② 廃棄物の分別を徹底し削減とリサイクルを行う。
 - ③ 水の使用量削減に努める。
 - ④ 環境に配慮した製品開発・資材調達に努める。
- 3 アフターサービスに於いて、お客様の使用した製品を回収しリサイクル活動に努めます。
- 4 全従業員に環境方針を周知徹底し環境保全意識の向上に努めます。

制定日 2011年6月2日
ユーレックス株式会社
代表取締役 岡田 純二

環境管理体制図



各課の役割

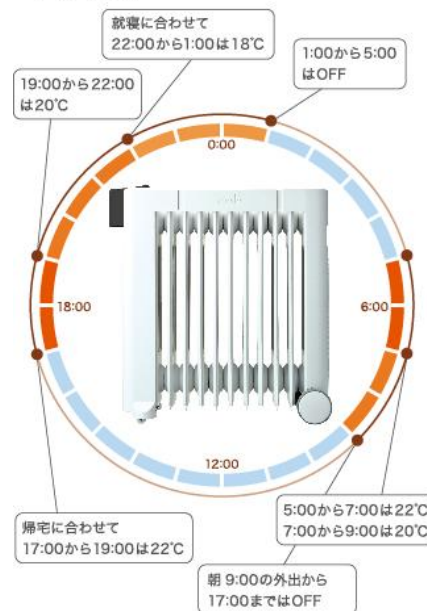
業務課	業務係	出荷ミスの削減、業務の効率化
	倉庫係	在庫差異の削減
技術・製造課	技術係	環境に配慮した製品の設計
	製造係	生産計画の遵守
品質管理課	品質管理係	生産用部材の不良率低下
	研磨係	効率の向上、工程内不良の削減

製品紹介

日本製のオイルヒーターはユーレックスだけ。
快適な生活環境をご提案いたします。



〈タイマー使用例〉



独自開発したタイマー
（特許取得済み）を使用する事で、節電性能が大きく向上しました。





環境活動への取組み

環境推進委員会により、当月の実績から、是正すべき点を打ち合わせ。
※推進委員会は1回/月 及び適時開催



電気・灯油の削減目標。廃棄物の削減目標
節水・グリーン購入
上記5点の目標に基づき活動計画書の作成

2011年度環境目標達成状況表		2011年度環境目標達成状況表	
項目	目標値	実績値	達成率
電気消費量	1000 kWh	950 kWh	95%
灯油消費量	1000 kg	980 kg	98%
廃棄物削減率	10%	12%	120%
節水	1000 t	950 t	95%
グリーン購入	1000万円	980万円	98%

Action

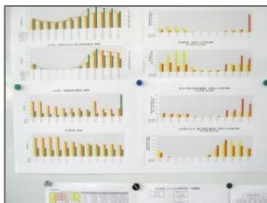
Plan



Check

Do

環境掲示板にて実績（総量）と原単位による昨対を掲示。
日々の管理としてはチェックシートを活用



項目	目標値	実績値	達成率
電気消費量	1000 kWh	950 kWh	95%
灯油消費量	1000 kg	980 kg	98%
廃棄物削減率	10%	12%	120%
節水	1000 t	950 t	95%
グリーン購入	1000万円	980万円	98%

作業手順書等で、従業員へ周知徹底。電灯や機器に管理責任者を任命。
ステッカー等の掲示



作業名	作業手順	作業責任者
電灯点検	電灯の点検を行う。点検結果を記録する。	佐藤 太郎
機器点検	機器の点検を行う。点検結果を記録する。	鈴木 一郎



環境活動への取組み

部門別実行計画の活用

各部門毎に業務改善に関する計画書を毎年作成し、本来業務の改善活動を実施しています。
この活動一つ一つが環境負荷を低減する事に繋がっています。



環境目標



環境方針	環境目標項目	基準値 (基準年度)	年度毎目標・達成手段				
			2013年度	判定	2014年度	2015年度	
二酸化炭素排出量	電力の二酸化炭素排出量削減	106,419kWh 55,125 (kg-CO2) 2012年 二酸化炭素排出係数 0.518	基準年度比	95 %	×	97 %	90 %
			目標値	52,369 (kg-CO2)		53,471 (kg-CO2)	49,613 (kg-CO2)
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯の使用時間についてルールの作成 ・監視システムからの情報を従業員へ配布 ・ブース毎の節電目標を設定 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯の使用時間についてルールの作成 ・監視システムからの情報を従業員へ配布 ・業務効率向上の検討 (残業時間の圧縮) 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率向上の検討 ・照明器具の変更を検討 (事務所内) 		
	基準年度比	97 %	×	96 %	95 %		
目標値	22,915 (kg-CO2)	22,679 (kg-CO2)		22,442 (kg-CO2)			
達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・JETヒーターの使用時間をルール化 ・事務所内の設定温度とルールを作成 ・各ブース内ヒーターの設定温度を作成 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・JETヒーターの使用時間をルール化 ・事務所内の設定温度とルールを作成 ・各ブース内ヒーターの設定温度を作成 ・業務効率向上の検討 (残業時間の圧縮) 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務効率の向上の検討 ・より効率のよい暖房機への変更を検討 			
廃棄物の削減	一般廃棄物の削減	873 kg 2012年	基準年度比	97 %	○	98 %	95 %
			目標値	846.8 kg		856 kg	829 kg
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミと可燃ゴミの分別を徹底 ・ダンボールの資源化を徹底 ・アフターサービスに関する緩衝材の再利用 ・可燃ゴミ排出時の計量 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミと可燃ゴミの分別を徹底。 ・可燃ゴミ排出時の計量 ・裏紙利用の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・資源ゴミと可燃ゴミの分別を徹底。 ・可燃ゴミ排出時の計量 ・裏紙利用の推進 		
	基準年度比	99 %	×	99 %	99 %		
目標値	175 m ³	175 m ³		175 m ³			
達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・各水道への掲示物貼付 ・トイレへの掲示物貼付 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・各水道への掲示物貼付 ・トイレへの掲示物貼付 	<ul style="list-style-type: none"> ・各水道への掲示物貼付 ・トイレへの掲示物貼付 			
グリーン購入	事務用品のグリーン購入	比率 64 % 2012年 比率=エコ商品/全購入額	基準年度比	110 %	○	115 %	120 %
			目標値	70 %		74 %	77 %
	達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマーク登録商品のリスト化 ・新規購入分に関して移行を検討 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・新規購入する事務用品について移行を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規購入する事務用品について移行を検討 		
	基準年度比	99 %	×	99 %	99 %		
目標値	175 m ³	175 m ³		175 m ³			
達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発に向け、既存製品における環境負荷の大きい部品を確認し、互換部品の検討を行う 	×	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発に向け、既存製品における環境負荷の大きい部品を確認し、互換部品の検討を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品開発に向け、既存製品における環境負荷の大きい部品を確認し、互換部品の検討を行う 			
社会貢献	会社周辺の清掃		達成手段	<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃 ・市主催のイベントに参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・会社周辺の清掃 ・市主催のイベントに参加



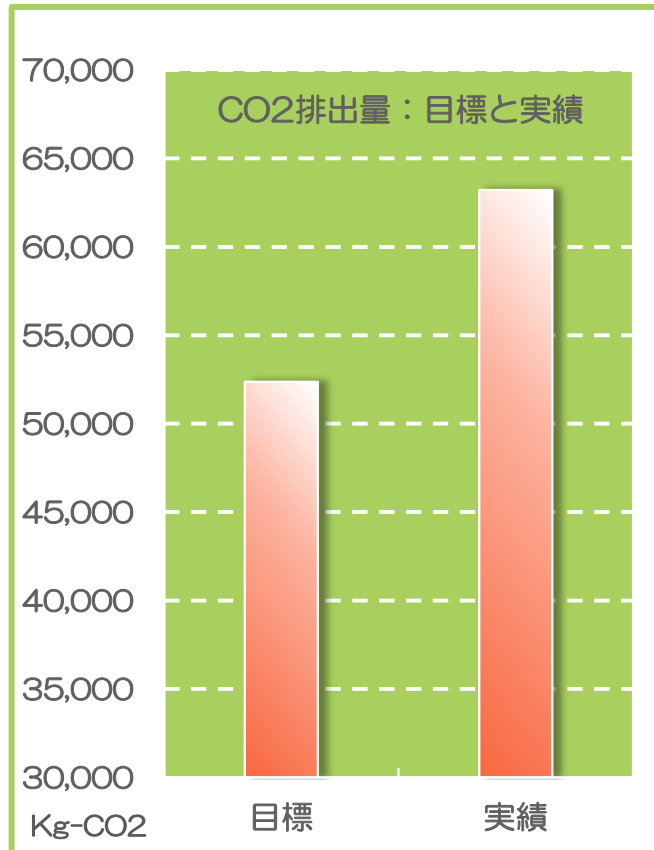
環境活動への取組み

① CO2削減（電気）

目標：二酸化炭素排出量
52,369 Kg-CO2



結果：63,125 Kg-CO2



7月以降に行ったオイルヒーターのライフ試験で電気を多く使用してしまい目標を達成することが出来ませんでした。

また、残業時間帯の使用ルール等も取り決めが無かったことも問題でした。

～ 来期の課題 ～

非常に残念な結果となってしまいましたが、ライフ試験で多くの電力を使用していることが判りました。

来期は必要な電力を必要なだけ使う工夫に努めて行きます。

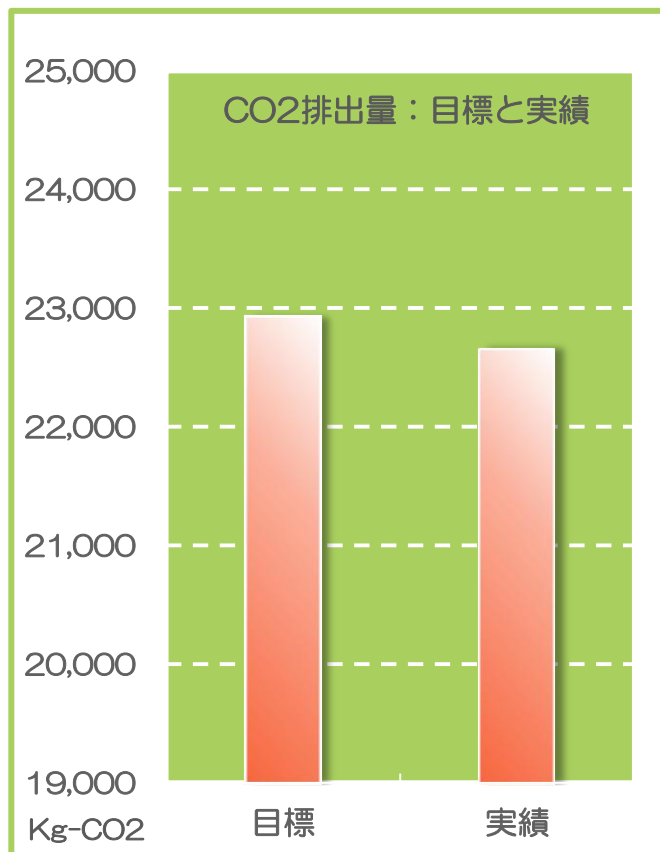


② CO2削減（灯油）

目標：二酸化炭素排出量
22,915 Kg-CO2



結果：22,647 Kg-CO2



一部の暖房機のタイマー設定が間違っていた為、休日も暖房が点いてしまっている事がありました。

確認不足でしたので反省点として来期に活かす様にします。

朝礼等で暖房の使用について定期的に呼び掛けを行い、全員が意識して使用する事が出来た為、累計では目標を達成することができました。

～ 来期の課題 ～

事務所内等、コンクリートから来る寒さが強く、検討が必要と思われる為、費用対効果も含めて検討を行っていきます。



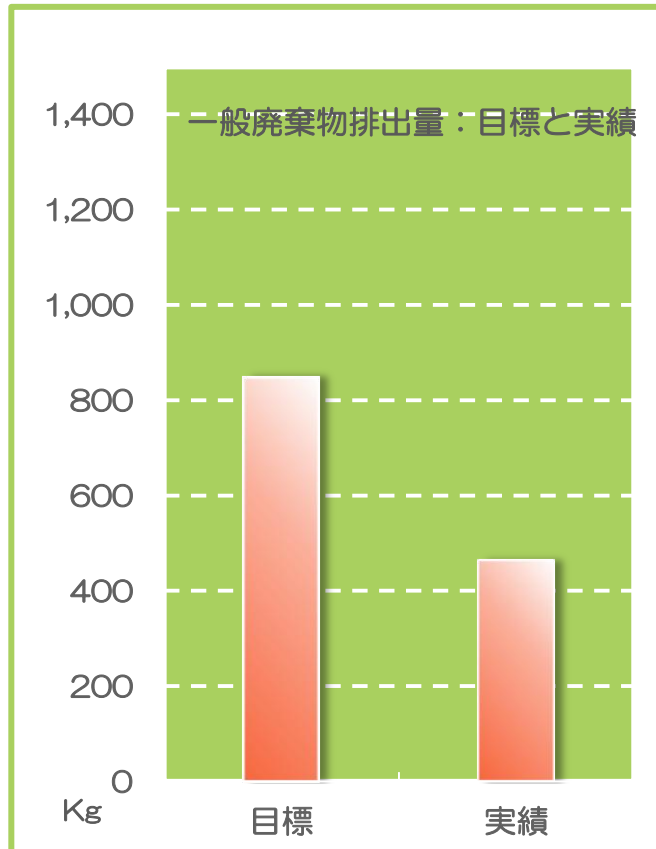
環境活動への取組み

3 一般廃棄物の削減

目標：可燃ゴミ排出量
846.76 Kg



結果：461.65 Kg



可燃ゴミは社員全員の意識も高く多大な成果を上げることができました。

～ 来期の課題 ～

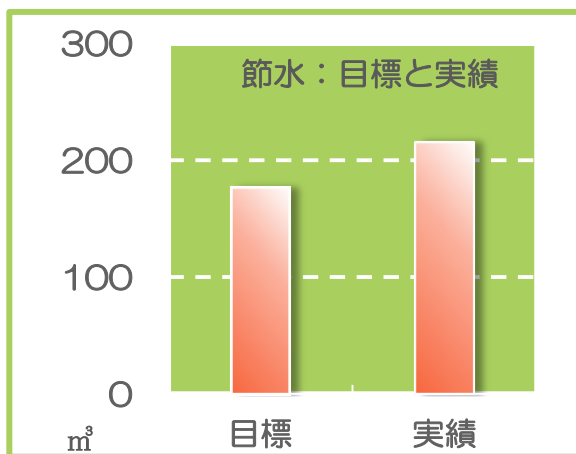
5S活動などを行った際に一時期だけ排出量が増加してしまう傾向がありましたので、定期的な注意喚起を行う必要があります。

また、更なるリサイクル等可燃ゴミを減らす検討を継続して行っていきます。

環境活動への取組み

4 節水

目標：水道使用量 175.4 m³



結果：214.7 m³



9月より従業員が増えたため、予想を超える使用量となってしまいました。

また、女性従業員が増加したことで一人あたりの使用量も多くなっています。

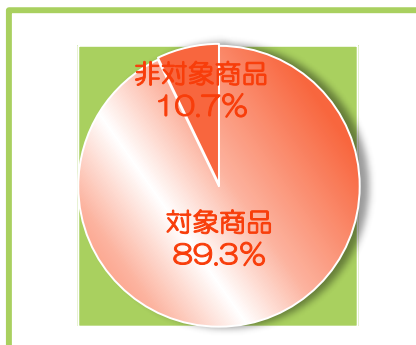
節水コマの設置を行いました。が、使用頻度の低い水道であったため効果を実感することができませんでした。

来期の課題：

節水活動としては少しマンネリ化してきているため、社員への通達や掲示方法を工夫し、他の従業員にも意識してもらえるよう活動を実施するようにしていきます。

5 グリーン購入

目標：事務用品において購入商品の70%を適用商品とする



結果 89.3%の購入



過去に購入した事務用品がまだ多く残っており、購入する機会自体が減少していますが、教育の結果が実績に反映された年となりました。

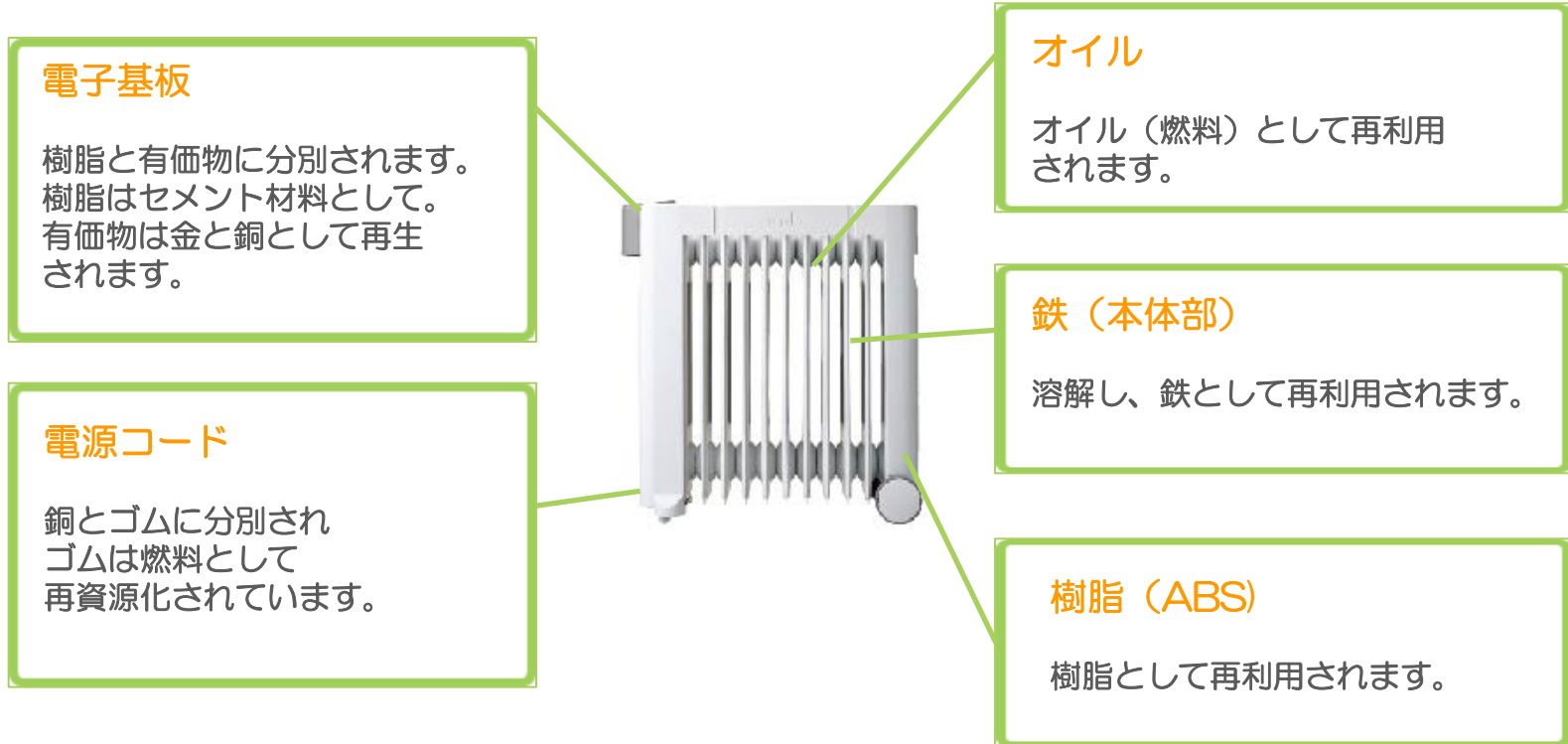
来期の課題：

発注頻度の多い従業員とそれ以外の従業員で、グリーン購入に関する意識の差が生まれないよう継続的な推進を行います。



リサイクル活動への取組み

長年ご使用された製品をお客様より回収させていただき、弊社にて分別を行いリサイクル活動を行っております。分別された資源は契約会社により再資源化され、様々な利用目的のために使用されています。



2013年度はお客様より395台の製品を回収させて頂きました。



EA21 勉強会



EA21の理解を深める為、勉強会を実施、
あたらしく入社した方にも教育を行いました

会社周辺の清掃活動



会社周辺の落ち葉等を掃除
しました

緊急時の対応訓練

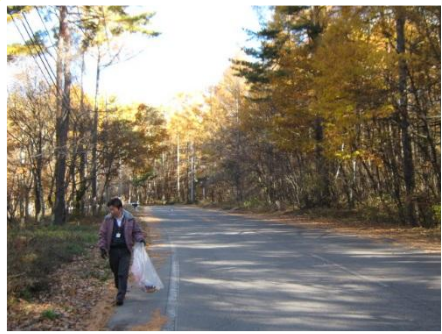


灯油の流出に対する訓練と消化活動の訓練を社内実施、企業組合で行った消化訓練も参加しました。

環境コミュニケーション



公園内清掃活動



企業組合の清掃活動（年2回）に参加しました。



駐車場周辺の緑化



今年も駐車場脇の花壇に花が咲きました。

新たにトマトも栽培して、おいしく頂きました。



雨水タンクの設置



雨水タンクを今年も設置。

貯まった雨水はグリーンカーテン用の朝顔や、花壇等へ使用しました。

グリーンカーテン



昨年収穫した朝顔の種で今年もグリーンカーテンに挑戦。

花もキレイに咲きました。



2013 AQUA SOCIAL FES 河口湖園内清掃活動



初夏に河口湖の清掃イベントに参加しました

2013 AQUA SOCIAL FES 諏訪湖周辺の清掃活動



秋は諏訪湖周辺のゴミ拾いイベントに参加しました



代表者の見直しと評価

当社として環境活動を始めて3年が経過し、来期は4年目となります。
この活動を通じて、社員間で話し合う機会が増え、お互いの理解が深まったと感じています。
推進委員会の運営においても、各自の成長が感じられ、良い活動が継続的にできていると思います。

計画した目標について、全て達成していくことが一番良いのですが、実際に工場を運営していく上で、さまざまな変更や予期せぬ事態が発生してしまうことも事実です。

そのようなときに、「～が変更されたから仕方ない」、「～が起きてしまったので達成できなくて当然」といったことにならないようにすることが必要です。

変更が生じたとき、不測の事態が発生したときに、それらが環境活動に及ぼす影響を吟味し、時には計画値の変更や、原単位の考え方を変えることなどの対応が必要です。

上記のような大きな変更は、実施責任者だけではできませんので、管理責任者を交えた協議を速やかに行うことができるよう、体制づくりに取り組んでください。

代表取締役 岡田 純二



環境法規関連の遵守状況

当社の企業活動に伴い適用される環境関連法規は下記の通りです。

環境管理責任者が中心となり法規の順守状況についてチェックを行い、現在及び過去3年間で問題のない事を確認いたしました。同様に関係機関及び顧客・近隣住民からの苦情、訴訟もございませんでした。

法規の名称	該当すべき要求事項（対応すべき事項）	備考	判定
廃棄物処理法	委託基準	一廃収集業者の許可確認	○
	委託基準	産廃収集運搬・処理業者の確認及び契約	○
	保管基準		○
	マニフェスト交付		○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出		○
消防法	危険物の適正管理		○
容器リサイクル法	包装材料使用台帳の作成		○
家電リサイクル法	社内にて使用している家電製品		○

eureks

ユーレックス株式会社

〒391-0011

長野県茅野市五川上原山林間工業公園

TEL0266-79-4491 FAX0266-70-1435

<http://www.eureks.co.jp>

